

第 1 回懇談会意見まとめ

本橋（あ）委員

- ・すでにある観光資源にいかに付加価値をつけるかが大事
例）通訳の場合、文化的な背景を理解して受け手が知りたい情報を伝える能力
- ・インバウンドに対応できる人材の育成が必要

北村委員

- ・他自治体のインバウンド対応を取り入れる
- ・インバウンド対応も大事であるが、日本人観光客の対応も重要

嶋田委員

- ・プロモーションについて、カテゴリーで位置づけをとることが重要
例）市に興味がなくともサステナブルツーリズムに興味がある人が来訪するようになる。わかりやすく、全体で取り組める共通アクションがあると取組やすくなる。
- ・競合地域を分析して差別化を図ることが重要
例）高尾山と御岳山の差別化

本橋（大）委員

- ・宿泊する理由となる朝夜のコンテンツづくりが必要
- ・観光資源の単体より要素を掛け合わせが大事
→ 掛け合わせる要素によりインバウンドへも対応

鞆矢委員

- ・ブランドづくり、差別化を図り情報発信を通して知名度を上げる
- ・市に点在する観光資源をつなげて回遊性を高める必要がある
例）2次交通の充実、周遊コース設定
- ・御岳地域以外の宿泊施設の充実

小澤委員

- ・観光資源をつなぎ回遊性を高める取組が必要
例) デマンド交通 (特に東部地域)
- ・宿泊し回遊することで滞在時間が増えることが経済的に重要

村上委員

- ・市の強みは都心からのアクセスの良さ
例) 都心から1時間半で電車1本で来れること
- ・エリアの魅力を伝えていくことが必要
- ・サービスを提供する人にお客様 (ファン) がつくると付加価値が出る
- ・2次交通には課題があると感じる
例) 周遊コースの案内

横澤委員

- ・御岳山の神秘的な要素、文化的な背景、歴史は大きな強み
- ・旅行形態は、物見遊山から出合いや暮らしを感じる形態へ変化
- ・都心からの立地が強み
例) 自然、観光、文化・歴史の要素が揃う近い田舎を感じる
- ・差別化されたまちの景観・雰囲気 の保全・整備
例) 昭和レトロと駅前開発の調和

小島委員

- ・文化財の保全と観光誘客のバランスに課題がある
例) SNS 拡散などによる観光客増の弊害、文化財へのダメージ
- ・駐車場不足
例) 夏季釜の淵公園駐車場の不足

金井委員

- ・観光客に対する市民の意識、ホスピタリティの向上
例) 貴重品預かり、受け入れ側の体制
- ・歴史や文化の豊かさが新しい刺激につながりアクションが起こる
- ・交通機関で移動しやすい環境整備が課題

越前委員

- ・ 地域による観光客数の減少
例) 吉野梅郷の春以外の誘客数
- ・ 宿泊施設や交通機関の充実が必要
- ・ 近隣自治体の観光資源と周遊連携を図る